

第21回全宮古中学校春季テニス大会実施要項

- 1 主 催 宮古中学校体育連盟
- 2 後 援 沖縄県教育委員会 宮古島市教育委員会 多良間村教育委員会
- 3 期 日 令和7年12月13日(土) 午前9:00 試合開始
*雨天時: 12月14日(日) 順延
- 4 会 場 宮古島市宮カママ嶺コート (雨天の場合: 下地屋内運動場)
- 5 申込メ切 令和7年11月20日(木) 15:00 必着
- 6 申込先 専門部長に公務支援にてデータを送信し、校長印の押された紙の原本も提出。
- 7 監督会 令和7年11月20日(木) 15:00 場所: 未定
- 8 参加資格
 - (1)宮古中学校体育連盟に加盟の生徒で、当該中学校校長の認める生徒であること。
 - (2)宮古中学校体育連盟に登録している地域クラブ活動であること。
 - (3)生徒の引率は当外校の校長・教員とし、地域クラブにおいては責任ある指導者・代表者とする。
 - (4)監督等は、出場校の校長・教員とし、教員以外の外部指導者は当該中学校長の認めたもので、地区で登録された者とする。
 - (5)宮古中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。地域クラブにおいては、各中央競技団体の倫理規定等に基づいて、沖縄県各競技団体等から処分を受けていない者であること。校長及び地域クラブの責任者はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部指導者は校長から暴力等に対する指導処置を受けていないこととする。
 - (6)選手は中学生らしく、競技者にふさわしい髪型及び身なりであること。

9 参加制限

(1) 団体戦参加枠

男女とも、1校1チームで編成し、選手5名以上7名以下とする。(2複1単補員2) 5人に満たないチームの参加は認めない。

(2) 個人戦参加枠

①男女ともダブルスとシングルスに兼ねて出場する事ができる。

②各チームシングルス6、ダブルス5ペアまで出場することができる。

(3) 選手はルールを熟知し、ルールの分からない生徒は試合に出場させない。

10 競技規則

本年度日本テニス協会競技規則に準ずる。

11 使用球

日本テニス協会公認球(イエローボール)

12 競技方法

(1) 競技は団体戦と個人戦(男女シングルス、男女ダブルス)を行う。

(2) 団体戦の場合、申込用紙に登録している者の中から各コートに1人のベンチコーチが認められる。(個人戦は不可)

(3) 団体戦、個人戦ともに1セットマッチ・ノーアドバンテージで行う。ただし、個人戦の決勝、準決勝は1セットマッチ(ジュースあり)にて行う。

(4) 団体戦はD2→D1→S1の順で行い、2ポイント先取で、その後は打切る。

(5) 個人戦はシングルス・ダブルスともにトーナメント方式とし、3位決定戦を行う。出場選手数(ペア数)が3名(3ペア)以下の場合、シングルス・ダブルスともにリーグ戦方式とし、3位決定戦は行わず、ゲーム差もしくは点差により3位を決定する。

(6) 審判はセルフジャッジとする。選手はフォルト・アウトのコールをすばやく、はっきりと相手にわかるように行う。顧問およびコーチは、徹底した指導をすること。

(7) 天候や日程の事情により短縮ルール(2オールスタート)にて試合を行う場合がある。

13 表彰

(1) 団体優勝校と準優勝校には賞状を授与する。

(2) 団体優勝校には全登録選手に賞状を授与する。

(3) 個人戦(シングルス・ダブルス)は、1位~3位までに賞状を授与する。

14 その他

(1) 団体戦は男女優勝チーム、個人戦は男女各4位までを第25回沖縄県中学校テニス新人大会に推薦する。

(2)団体戦は、出場校が1校（1チーム）のみの出場であっても優勝とする。

15 服装・容姿について

(1)選手は試合の際、テニス用ゲームウェアを着用し、テニス用のシューズ・ソックスを履くこと。ただし、1年生は体育着での出場も認める。

(2)短パンは膝を覆わない程度の長さまでとする。

(3)健康上の理由がない場合、サングラス（色つき調光グラスも含む）の着用は認めない。（医師の診断書を提出する）。

(4)本部が必要と認めた場合は、学校指定のジャージ（上着のみ）を着用してもよい。

(5)ロゴについては、本年度日本テニス協会競技規則のロゴ規定に準ずる。

(6)服装については、沖縄県中学校テニス選手服装規定（訂正版）に準ずる。

(7)選手は背中上部にゼッケンを着用すること。詳細は以下のとおりとする。

①背中上のゼッケンは、B5版大横・白地（縦約18cm×横約26cm）の大きさのものに県名・校名と姓を書き、県名には「県」、校名には中学校の「中」の文字はつけないものとする。脱着に都合のよいようにホック(スナップ、安全ピン)等で留めることは許可する。

②背中上のゼッケンの表記については、届け出たとおりの表記とし、文字は「漢字」または「仮名」を使用し、独自の『ひらがな』『カタカナ』『ローマ字』などは使用しないこと。文字の色は黒系統とし、書体は特に問わない。

③背中上のゼッケンをシャツそのものへ、プリントすることは認めない。

④背中上のゼッケンの文字の位置は、下図例1のとおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名の1文字を付け加えること。

⑤中学校名が第一・第二中学校や東・西・南・北中学校のような場合、または同名の学校がある場合、学校名をわかりやすくするために、下図例2のように学校所在地を付記してもよい。

《例1》同姓の選手がいる場合（金城太郎選手・金城次郎選手）

